



スマートフォン等の適正な使用に向けて

～保護者の皆様にリーフレット「スマートフォン等使用推奨ルール」を配付します～

- スマートフォン等の所持率の急増に伴い、SNSを介した外からは見えないいじめや性的逸脱行動、安易な気持ちからネット上に写真や情報を公開したことによるトラブル、それらに起因した重大な事案の発生などが見られます。
- 「深めよう 絆 にいがた県民会議」では、現在、新潟県高等学校PTA連合会、新潟県小中学校PTA連合会、新潟市小中学校PTA連合会、新潟県特別支援学校知的障害教育校PTA連合会とともに、リーフレット「スマートフォン等使用推奨ルール」を作成しており、児童生徒をとおして、12月中に県内全ての保護者の皆様に配付する予定です。

ルール(リーフレット)作成の基本的な方針は次のとおりです。

- ・「子どもを守ることができるのは、保護者である」という考えから、保護者に向けたものとする。
- ・ルールの数は最小限とする。
- ・トラブル事例やスマートフォン等を持たせる前に知っておきたい情報、相談窓口等も入れる。



リーフレット(案)



ワーキンググループの様子

お年玉等でゲーム機や音楽プレーヤー等の購入を許可する、進級・進学を機にスマートフォン等を持たせるという御家庭もあると思います。そのようなときは、ぜひ、リーフレットを参考にして、親子で話し合っ使用についての約束を決めていただきたいと思います。次に紹介するように、県内の学校では、既に生徒会やPTAが中心となって「ルールづくり」に取り組んでいます。

「ネットいじめ防止」に向けた、県内中学校等の取組例

生徒会が連携したネット利用に関する提言の取組(見附市立4中学校生徒会)

見附市立の4つの中学校の生徒会では、各校の現状や課題、今後の方策等を話し合い、共通の「ネット利用に関する提言」を行いました。

活動スローガンを「Face To Face ～時間と気持ちと言葉遣い～」とし、次の3つの共通ルールを提案し、各校で生徒一人一人の実践を進めました。

- ①22時には、ネットを介しての連絡を止める。(「もう寝るね」運動)
- ②送信する前に見直す。
- ③自分がされて嫌なことはしない。



4校の生徒会では、活動の成果として、次のことを挙げています。

- ・全校生徒、新入生や小学生などへ呼び掛けを行い、周知できた。
- ・ルールを確認し合い、全校生徒に浸透させることができた。
- ・スローガン、ルールを意識する生徒が増えた。
- ・メディア利用時間を少なくしようという意識(ローメディア意識)を高めることができた。

今後も4校の生徒会が連携し、「ネットいじめ防止」に向けて取り組むこととしています。



「県民の集い」での発表の様子



PTAが主体となってルールを作成した長岡市立東中学校PTAの取組

長岡市立東中学校PTAでは、年々増加するスマートフォン等の所持率、SNSを介する問題の多発等の実態を受け、PTA役員のリーダーシップのもと保護者向けの「東中ルール」を作成しました。役員会での話し合いや保護者へのアンケート等を重ねることで、趣旨の理解が広がっていきました。

引き続き、東中学校PTAでは、作成したルールを基に親子で話し合い、各家庭の実情に応じた取組を推進していくこととしています。



リーフレットは、各家庭、PTA、学校等の取組のきっかけやヒントにさせていただくことを目的としています。

リーフレットとともに、今回紹介した中学校等の取組例も参考にして、それぞれの実情に合った取組を進め、県民みんなで子どもの心と身体と命を守っていきましょう。



小学校における「佐渡金銀山世界遺産学習」の取組 ～佐渡金銀山の世界遺産登録について御家庭で話し合ってみませんか～

国内の多くの学校で、世界遺産を題材として歴史・文化、国際理解など、様々な教育が行われています。その一例として阿賀町立津川小学校の取組を紹介します。

津川小学校では、昨年度から総合学習で「佐渡金銀山は世界遺産になるか」を課題に様々な面から調べています。県世界遺産登録推進室の出前授業を受け、佐渡修学旅行で実際に現地を訪れるなど、佐渡金銀山の価値を学び、「佐渡金銀山は世界遺産になるか」についてクラスで討論しました。「明治になって、大規模に採掘していた様子がすごい!」「町のインパクトが足りない。」など、大激論が交わされました。

この学習成果は、平成27年2月の佐渡金銀山世界遺産連続講演会で発表されました。相川の歴史的な市街地と周辺の金銀山を、世界遺産登録されているメキシコの鉱山都市グアナファトと比較するなど、内容のレベルの高さは驚くべきもので大変素晴らしい発表でした。

近年、富士山、富岡製糸場、軍艦島が続けて登録されるなど、世界遺産が大きなニュースになっており関心が高まっています。

世界遺産登録実現には、県民に佐渡金銀山の価値を理解していただくことが大切です。県と佐渡市では、出前授業や講演会などで話題を提供していますので、佐渡金銀山の世界遺産登録について御家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。



佐渡金銀山世界遺産連続講演会での発表の様子

新潟県教育庁文化行政課
世界遺産登録推進室

TEL : 025-280-5726 FAX : 025-280-5764

ホームページアドレス : <http://www.pref.niigata.lg.jp/bunkagyosei/1196266594688.html> 「佐渡 世界遺産」で検索できます。